

第9回 働く女性と暮らしの調査

－企業人として・生活者としての意識と実態－

日本ヒーブ協議会では活動の一環として、1985年より定期的に『働く女性と暮らしの調査』を実施してきました。これはフルタイムで働く女性の意識や行動の変化を捉え、仕事や生活に対する価値観を探るものです。

この度『働く女性と暮らしの調査』(第9回)の結果がまとまりましたので、その一部をご紹介します。

● 「生活のため」に働く女性の増加

「生計維持」のために働く女性が調査開始以来、最多に

～長期化した不況の中で安定雇用の確保を望む～

● 8割以上の女性が会社に感謝

子どもありの人、また年齢が高い人ほど感謝する傾向

～会社に行くのが好きという人も子どもありの人、年齢が高い人に多い～

● 仕事継続上の障害のトップは、自分の会社内での将来像が見えないこと

仕事が忙しすぎる、業務時間が長いことがこれに続く

～家族の介護や自分・夫の転勤や異動も仕事継続上の障害に～

● 専門家としてのスキルを身につけることに高い関心

若い世代ほど他社でも通用するポータブルな能力向上に積極的

～働き方を見直す転機は健康状態や体力の変化、家族の介護～

● プライベートが仕事に好影響を与えている人は8割以上

仕事がプライベートに好影響を与える人は、6割弱

～仕事とプライベートが相互に好影響をもたらす～

● 男女共同参画社会への問題意識は8割以上

制度はあるが運用面での実態が伴わない

～企業との意識ギャップが明らかに～

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-22-2 金杉ビル401 TEL:03-3320-3155 FAX:03-3320-3166

URL : <http://www.heib.gr.jp/> メール: heib-jimukyoku@heib.gr.jp

【調査概要】

調査の目的：フルタイムで働く女性たちの仕事や生活の実情や意識を明らかにすることで、社会や企業の変化の中で働く女性の課題を明確にし、問題提起と改善策の提案を行うことを目的としている。

調査対象：日本ヒープ協議会会員及び会員企業にフルタイムで勤務する女性

調査方法：インターネット上での回答及び留め置き調査法による自記式アンケート

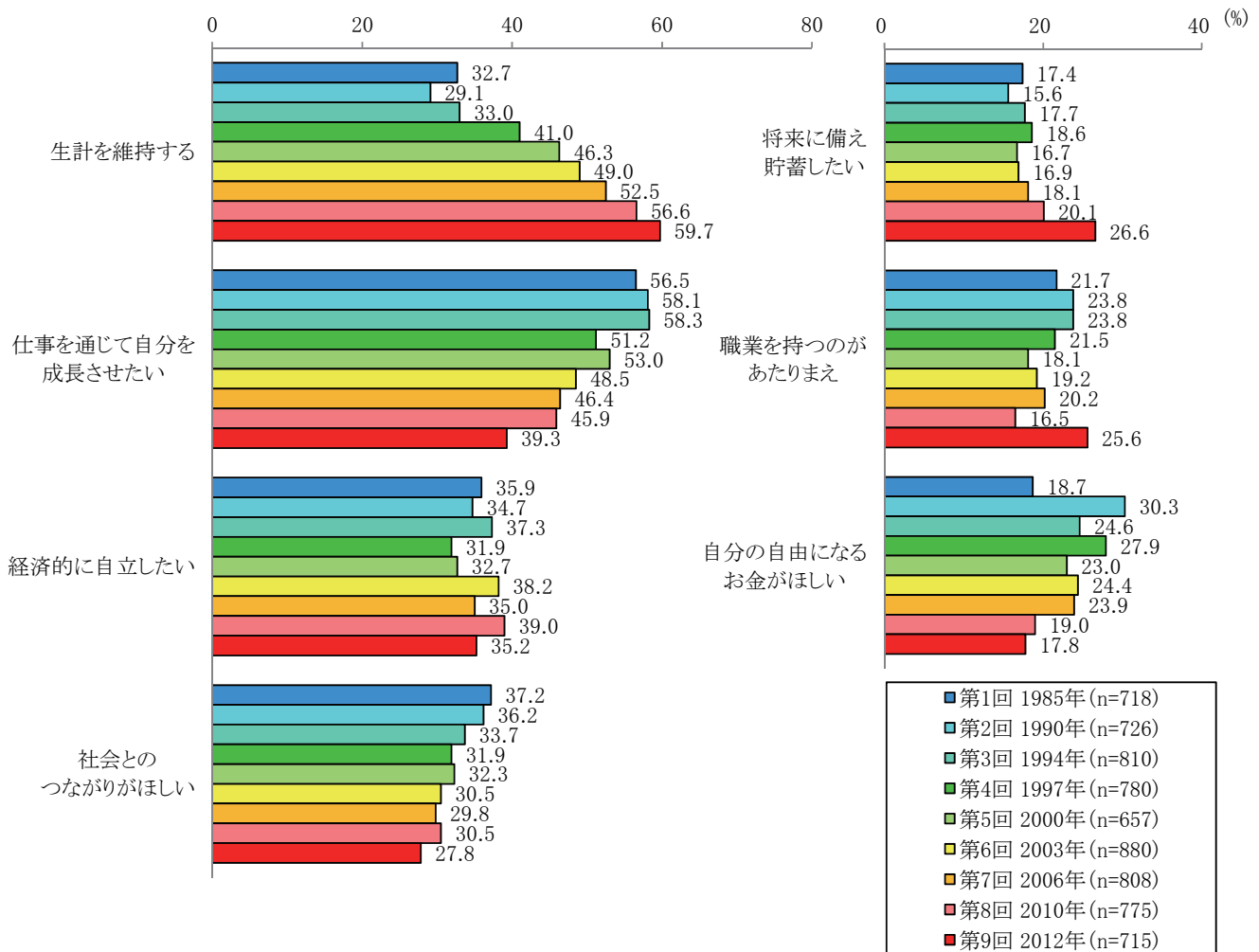
有効回答数：715名（うちヒープ会員 95名）

調査期間：2012年12月

調査結果の一部を抜粋して掲載

1. 仕事をする理由(時系列)

仕事をする理由のトップは「生計維持」で、調査開始以来最多
一方で「仕事を通じた自分の成長」「社会とのつながり」などは減少傾向
「職業を持つのがあたりまえ」についても調査開始以来最多

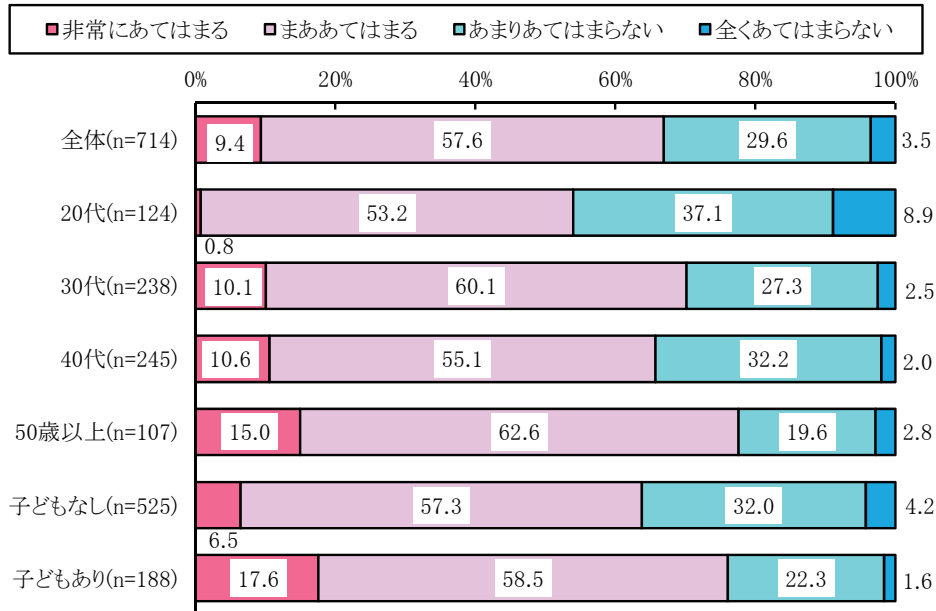


2. 自分は会社に行くのが好き(全体、年代別、子どもの有無別)

「非常にあてはまる」と「まああてはまる」の合計で 67.0%が「会社に行くのが好き」

50 歳以上が最も割合が高く、20 代で低い

子どもの有無別では、子どもあり>子どもなし、その差は 12.3 ポイント

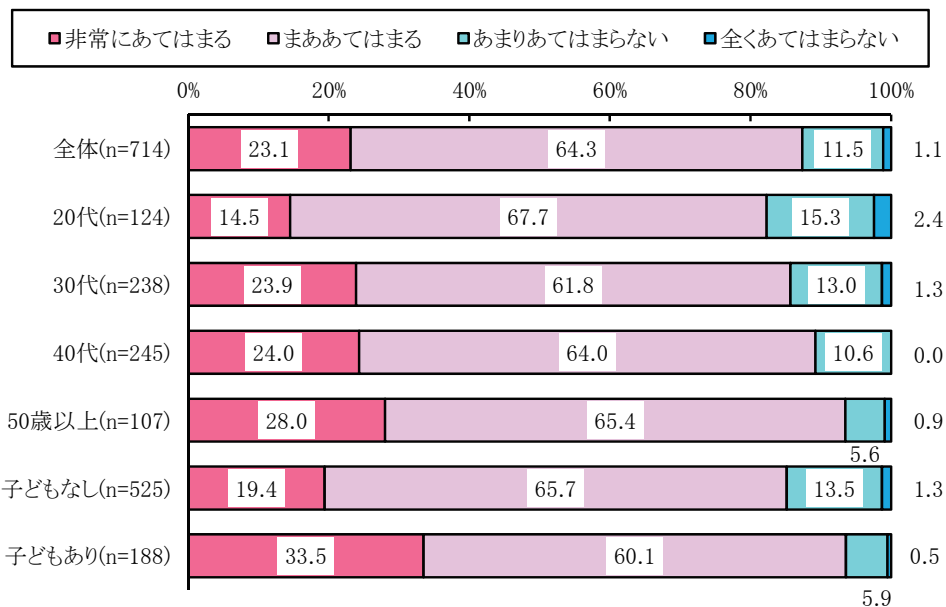


3. 自分は会社に感謝している(全体、年代別、子どもの有無別)

「非常にあてはまる」と「まああてはまる」の合計で 87.4%が「会社に感謝」

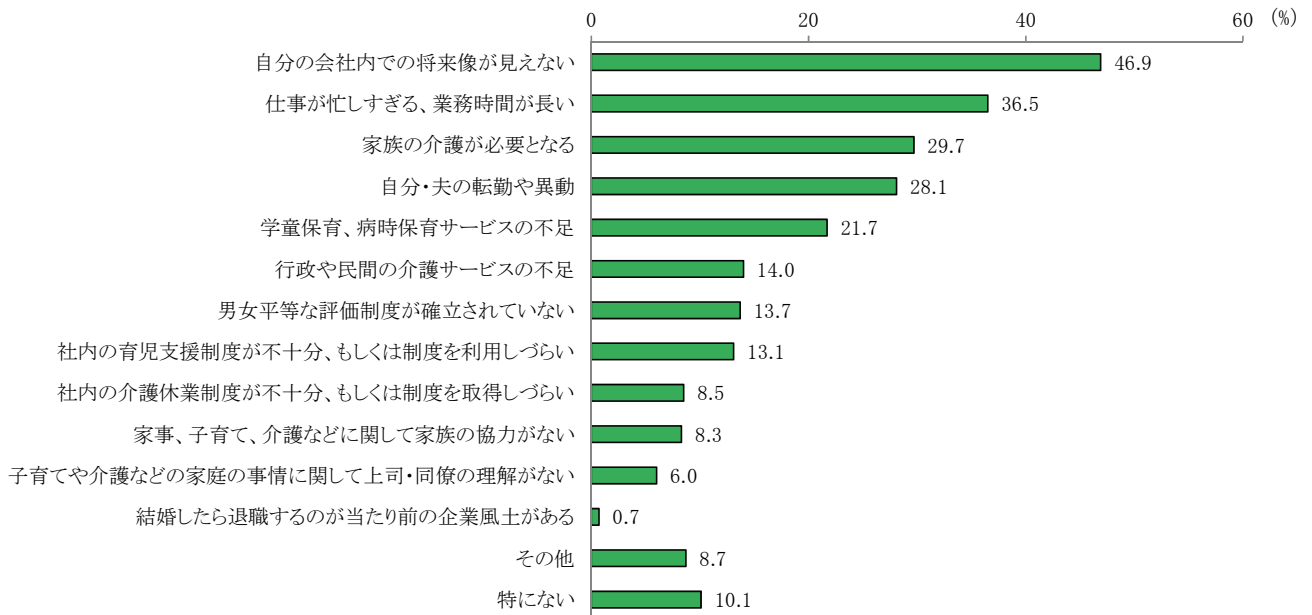
年代が高いほど感謝する傾向があり、50 歳以上では 93.4%

子どもの有無別では子どもあり 93.6%>子どもなし 85.1%



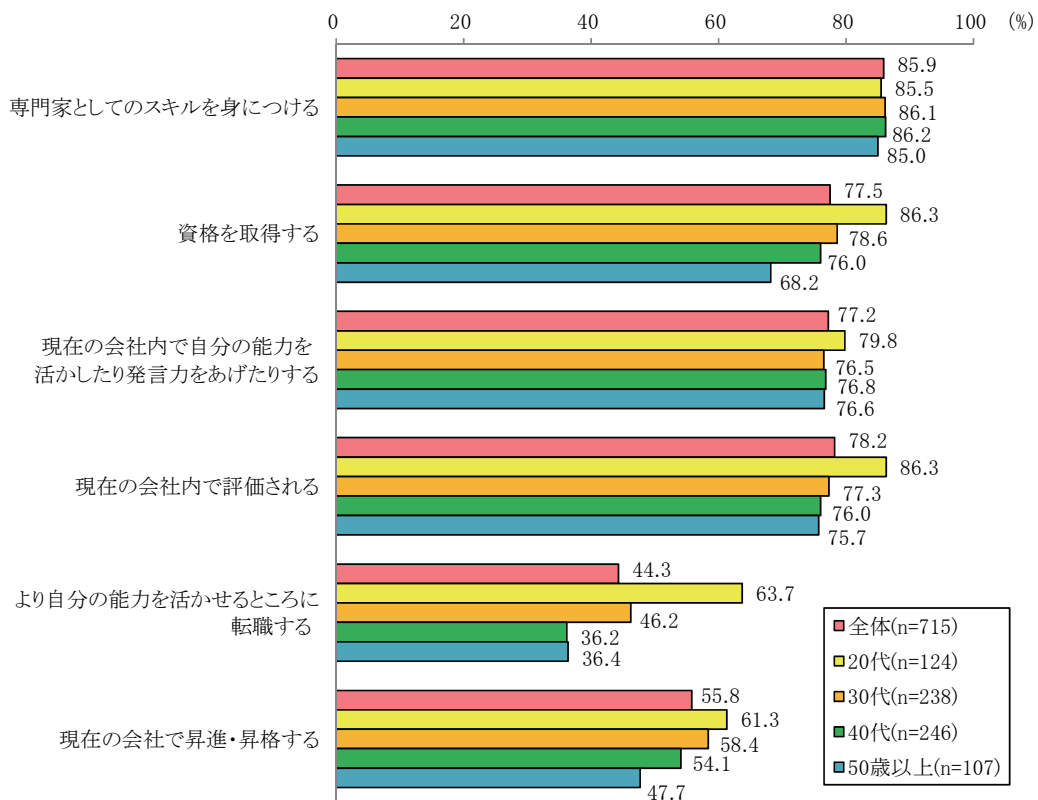
4. 今後5年間の仕事継続上の障害(全体)

今後5年間に於いて仕事を継続していくにあたり妨げとなるのは「自分の会社内での将来像が見えない」こと
次いで「仕事が忙しすぎる、業務時間が長い」「家族の介護が必要となる」「自分・夫の転勤や異動」



5. 働き方に対する意識(全体、年代別)

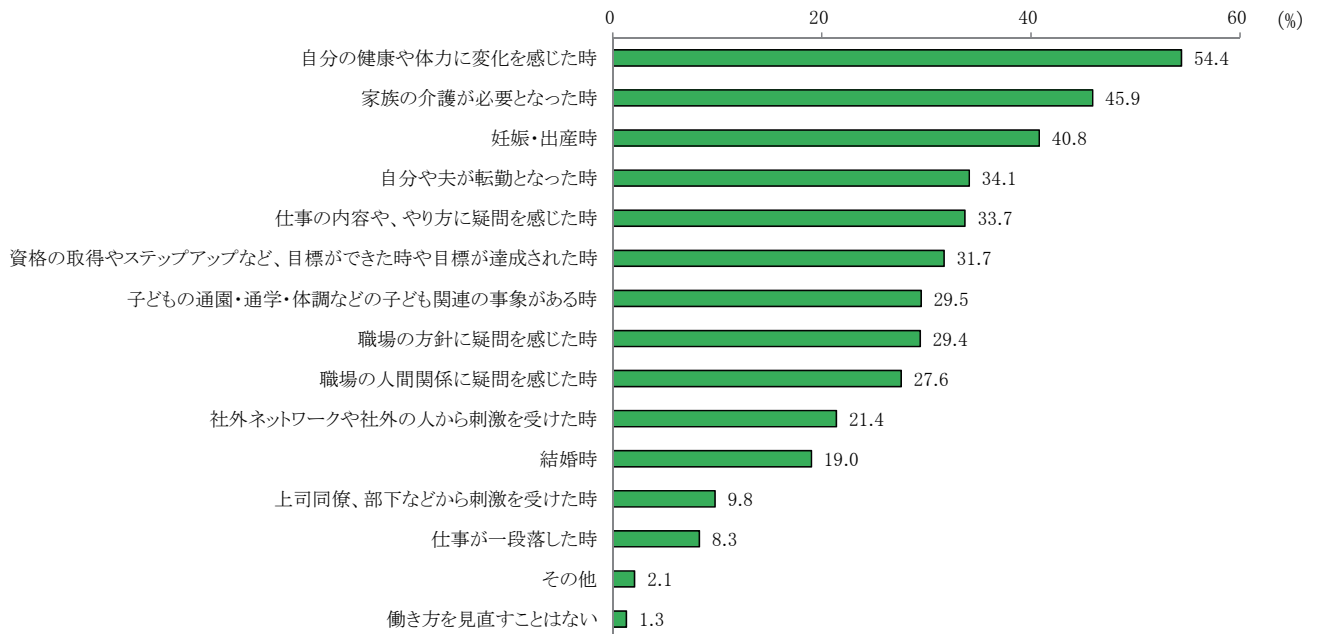
いずれの年代でも「専門家としてのスキルを身につける」ことに高い関心
全体的には年代が低いほど働き方が積極的



注:「非常に興味がある」と「どちらかといえば興味がある」の合計

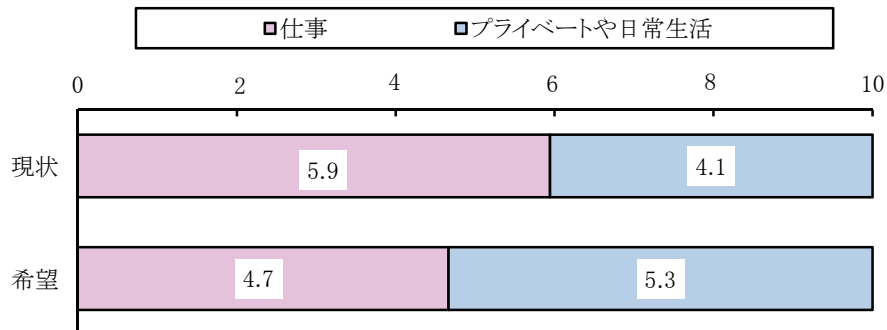
6. 働き方を見直す転機(全体)

「自分の健康や体力に変化を感じた時」「家族の介護が必要となった時」「妊娠・出産時」が考え時



7. 仕事とプライベートや日常生活の意識配分の現状と希望(全体)

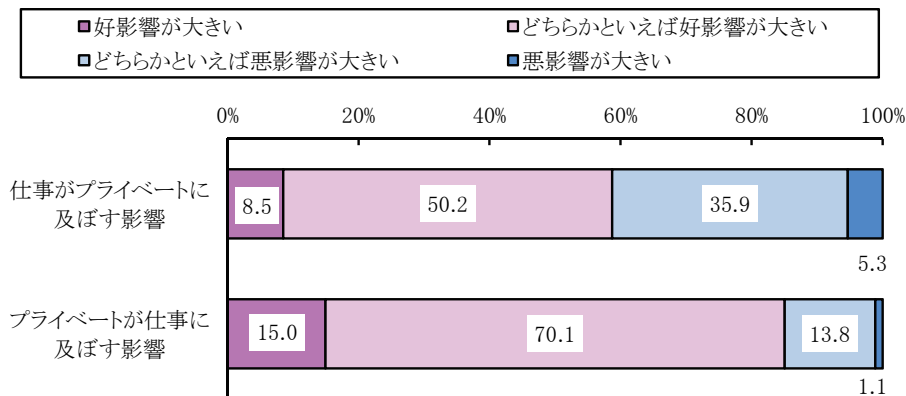
現状→仕事:プライベート=5.9:4.1 希望→仕事:プライベート=4.7:5.3



8. 仕事とプライベートの相互作用(全体)

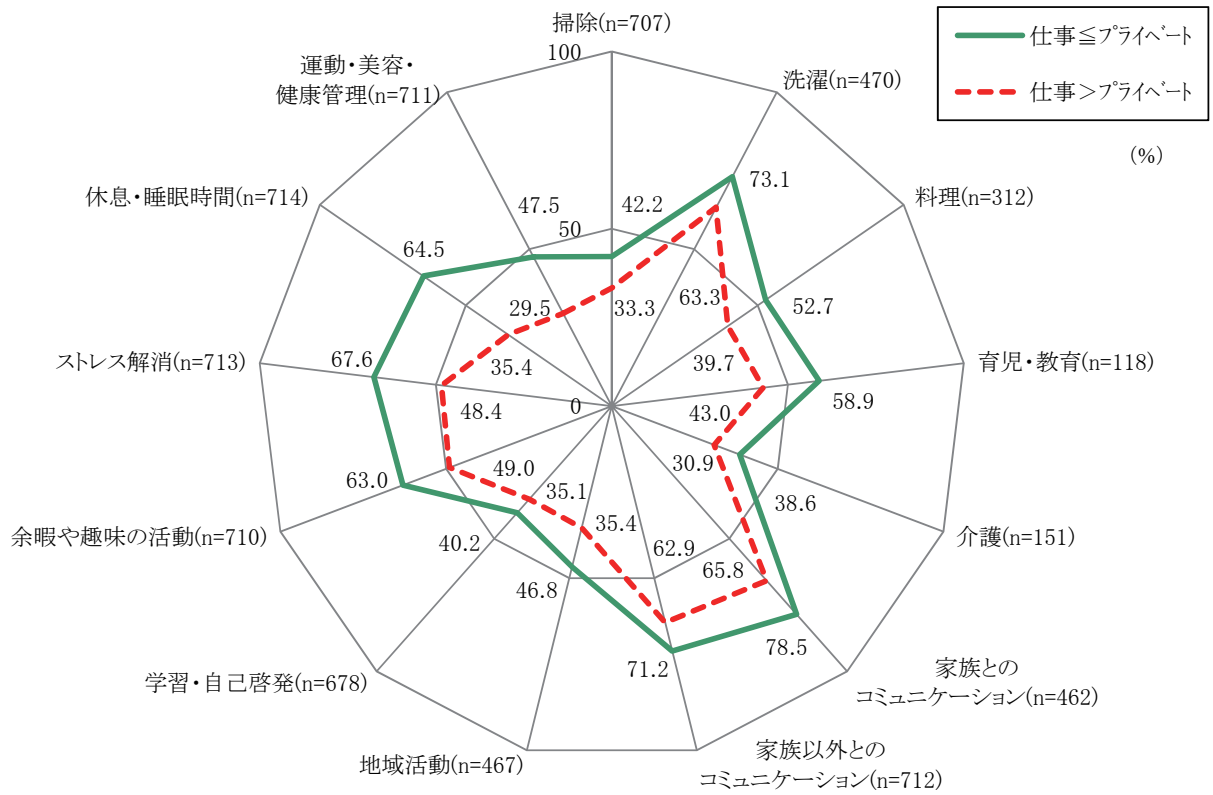
仕事プライベートに及ぼす影響は 58.7%が「好影響」

プライベートが仕事に及ぼす影響は 85.1%が「好影響」



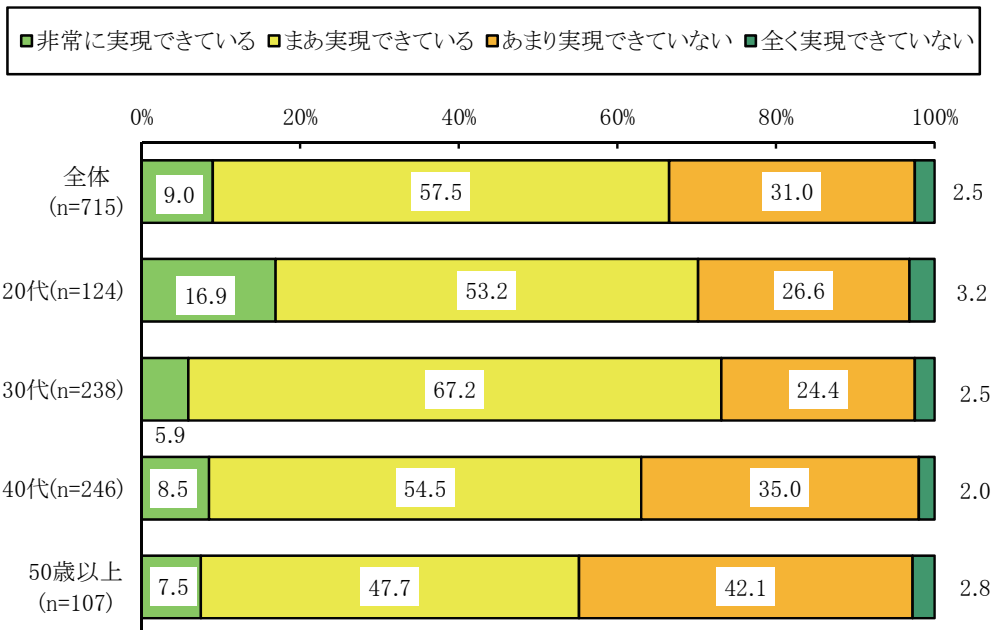
9. 日常生活の満足度(仕事とプライベートの比重別)

コミュニケーションと洗濯については概ね満足
 「介護」「運動・美容・健康管理」「掃除」「学習・自己啓発」については満足度が低い
 プライベートより仕事への意識配分が高い人のほうが全体的な満足度が低い



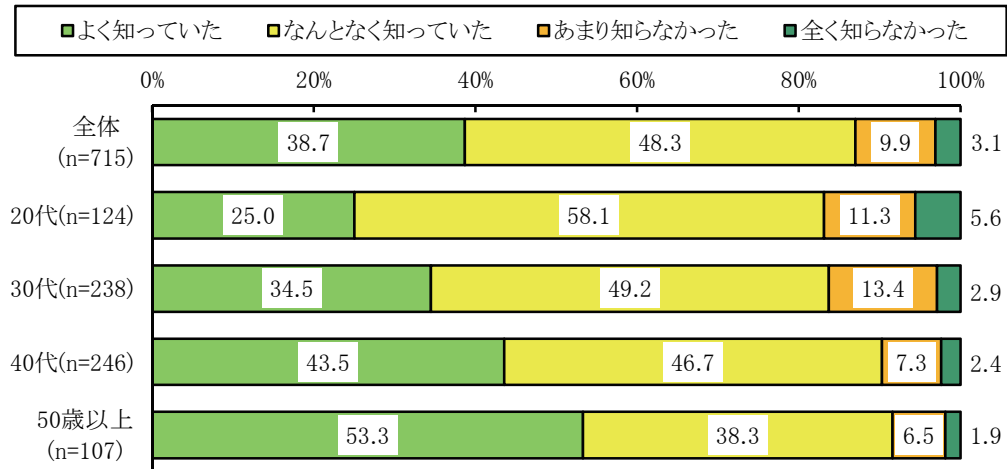
10. 職場における男女共同参画社会の実現度(全体、年代別)

「非常に実現できている9.0%」「まあ実現できている57.5%」
 「あまり実現できていない31.0%」「全く実現できていない2.5%」という結果



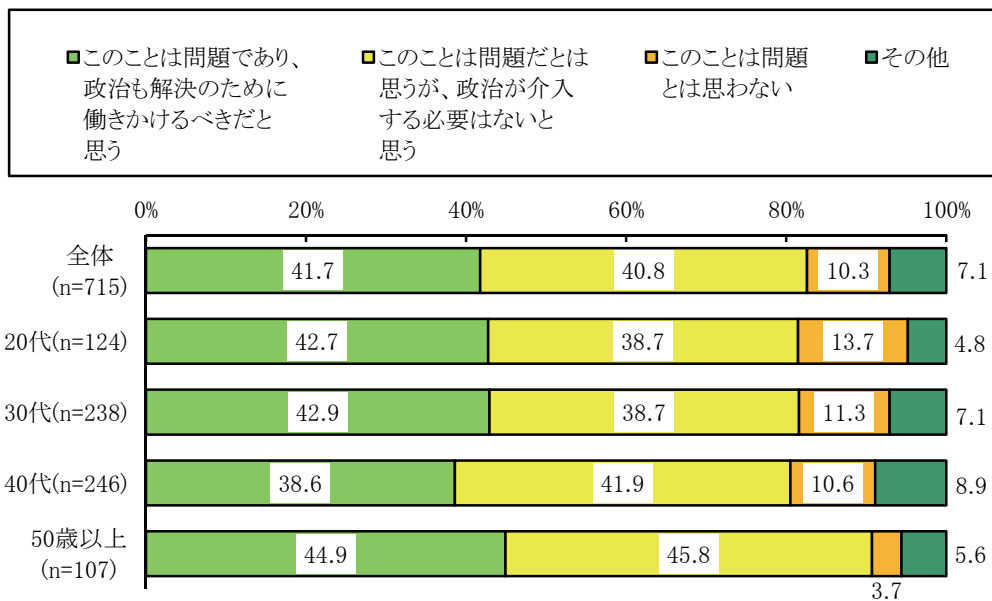
11. 日本における女性の管理的職業従事者の割合が国際的に低いことの認知度 (全体、年代別)

認知度は若い人ほど低い



12. 日本における男女共同参画社会の現状に対する見解(全体、年代別)

20代では問題視する人が約8割、50歳以上では約9割



調査結果の詳細は、下記にお問い合わせください

一般社団法人 日本ヒーブ協議会 事務局
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-22-2 金杉ビル 401
 Tel 03-3320-3155 Fax 03-3320-3166
[URL: http://www.heib.gr.jp/](http://www.heib.gr.jp/)
 E-mail: heib-jimukyoku@heib.gr.jp

【一般社団法人 日本ヒーブ協議会】

当協議会は、企業等の消費者関連部門などで働く女性が、生活者と企業のパイプ役としてよりよい仕事をするため、その能力向上を目的に1978年に設立されました。現在、食品・化学・電機・流通・金融・マスコミなど、企業の消費者対応・消費者教育・広報・商品開発・営業・品質管理・CSR部門などの多様な業務に携わる女性たちが集い、異業種交流の特徴を活かしながら、情報や意見交換を行っています。

東京の他、関西・九州に支部を持ち、2013年3月現在、正会員110名(会員が所属する企業89社)、賛助企業26社が月例研究会や分科会を通じて、生活者と企業の信頼ある関係構築へ向けて活動しています。

会員企業一覧 (2013年3月現在)

■正会員企業 89社 (50音順)

アース製薬(株)	サントリーパブリシティサービス(株)	日本電気(株)
アサヒビール(株)	サントリービジネスエキスパート(株)	日本ハム(株)
(株)アシックス	(株)資生堂	ハウス食品(株)
味の素(株)	敷島製パン(株)	はごろもフーズ(株)
味の素ゼネラルフーズ(株)	ジュピターショップチャンネル(株)	パナソニック(株)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	昭和産業(株)	パナソニック(株)エコソリューションズ社
アルソア本社(株)	(株)スタイリングライフ・ホールディングス プラザスタイルカンパニー	パナホーム(株)
(株)アルピオン	住友生命保険(相)	(株)販売促進研究所
アロン化成(株)	(社)生命保険協会	日立アプライアンス(株)
(株)アンデルセンサービス	(公財)生命保険文化センター	プリマハム(株)
(株)アンデルセン・パン生活文化研究所	積水化学工業(株)	(株)フレスタ
イオンリテール(株)	第一生命保険(株)	(株)マーメイドペーカリーパートナーズ
江崎グリコ(株)	(株)第一生命経済研究所	(株)マンダム
(有)M&E・ドクスピール	大正製薬(株)	(株)ミツカン
おおいたインフォメーションハウス(株)	(株)タカキフードサービスパートナーズ	(株)みつかん
大塚製薬(株)	タカナン乳業(株)	三菱自動車工業(株)
(株)学研プロダクツサポート	(株)ダスキン	(株)明治
カゴメ(株)	(株)談	明治安田生命保険(相)
(株)カタログハウス	TBCグループ(株)	森永製菓(株)
(株)かんぼ生命保険	(株)東芝	森永乳業(株)
キッコーマンビジネスサービス(株)	TOTO(株)	森乳コミュニケーション(株)
九州電力(株)	東洋羽毛工業(株)	(株)ヤクルト本社
キリン(株)	常盤薬品工業(株)	山崎製パン(株)
クリエイティブオフィス ピーンズ	西川産業(株)	ヤマハリビングテック(株)
(株)クレール	日新製糖(株)	雪印メグミルク(株)
(株)ゴールドウイン	日清製粉(株)	ユニ・チャーム(株)
(株)コスモスイニシア	(株)日清製粉グループ本社	ライオン(株)
サッポロビール(株)	日清フーズ(株)	(有)リリアプロジェクト
サンスター(株)	日本製粉(株)	ロート製薬(株)
サントリーホールディングス(株)	日本生命保険(相)	

■賛助会員企業 26社 (50音順)

一般社団法人日本ヒーブ協議会に賛助いただいている企業を賛助会員としてご紹介いたします。

アサヒビール(株)	昭和産業(株)	日本ハム(株)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	(公財)生命保険文化センター	はごろもフーズ(株)
(株)アンデルセン・パン生活文化研究所	ソニーマーケティング(株)	(株)ふくや
企業組合東京セールスレップ	ソネットエンタテインメント(株)	明治安田生命保険(相)
キリン(株)	第一生命保険(株)	森永乳業(株)
小林製薬(株)	(株)東芝	(株)ヤクルト本社
サンスター(株)	(株)日清製粉グループ本社	ユニ・チャーム(株)
サントリービジネスエキスパート(株)	日本製粉(株)	ライオン(株)
(株)資生堂	日本生命保険(相)	